令和7年度　　目　標　設　定　書　（まちづくり整備課）

まちづくり整備課長　　大 畑 俊 文

1　当課の主な業務は次のように定義されます。
・良好なまちづくりのための、様々な計画の策定に関すること ・開発許可及び建築関係等の事務に関すること ・都市施設や町道、河川の整備及び維持管理に関すること ・町道等の管理及び占用等に関する事務に関すること

2　当課の業務は次の方々のために行われます。
現在、毛呂山町に住んでいる、或いはこれから毛呂山町に住む皆さんのために。そして、毛呂山町を訪れる全ての皆さんのために。

3　当課の掲げる数値目標と、その根拠は次のとおりです。

目　標　名	企業誘致の基盤となる区域の指定	
指　標　名	産業系土地利用区域の面積	
数値目標	初期値（令和５年度）	18.2ha
	現状値（令和６年度）	18.2ha
	目標値（令和７年度）	23.2ha
	最終目標値（令和11年度）	35.0ha
設定根拠	第六次毛呂山町総合振興計画前期基本計画	
事業概要	毛呂山町都市計画マスタープランの推進を図ります。	

4　目標達成に向けた取り組みにより、次の効果が期待できます。
土地利用構想に基づき、自然や環境、景観などの地域特性を活かすとともに、社会経済情勢の変化に対応した調和のある土地利用を図ることが期待できます。

5　昨年度の取り組みの反省点は次のとおりでした。
産業基盤となる候補地について関係機関や関係各課との協議を実施してきましたが、目標達成には至りませんでした。

6　当課は掲げた目標達成のために、次の取り組みを行います。
更なる税収確保、雇用創出、地域産業の活性化を図るため、産業系１２号区域指定についてはこれまで町が区域を指定して企業誘致を進める町主体の方式から、事業者の申出に基づき区域指定を進める事業者主体の方式に変更することで、より一層の企業誘致の推進を図ります。

令和7年度　　目　標　設　定　書　（まちづくり整備課）

まちづくり整備課長　　大 畑 俊 文

1　当課の主な業務は次のように定義されます。

・良好なまちづくりのための、様々な計画の策定に関すること
・開発許可及び建築関係等の事務に関すること
・都市施設や町道、河川の整備及び維持管理に関すること
・町道等の管理及び占用等に関する事務に関すること

2　当課の業務は次の方々のために行われます。

現在、毛呂山町に住んでいる、或いはこれから毛呂山町に住む皆さんのために。そして、毛呂山町を訪れる全ての皆さんのために。

3　当課の掲げる数値目標と、その根拠は次のとおりです。

目　標　名	安全で快適な生活道路の整備	
指　標　名	町内団地側溝整備率	
数値目標	初期値（令和５年度）	79.0%
	現状値（令和６年度）	79.4%
	目標値（令和７年度）	80.0%
	最終目標値（令和11年度）	82.0%
設定根拠	第六次毛呂山町総合振興計画前期基本計画	
事業概要	町内団地内の側溝整備を進めます。	

4　目標達成に向けた取り組みにより、次の効果が期待できます。

町内団地内の側溝を整備することにより、身近な生活道路の安全性・快適性が確保されます。

5　昨年度の取り組みの反省点は次のとおりでした。

昨年度については、団地内２路線の側溝修繕工事を実施しましたが、今だ未整備の箇所が多数あることから、より多くの修繕が必要になっています。

6　当課は掲げた目標達成のために、次の取り組みを行います。

毛呂山町道路整備計画に基づき、老朽化した団地内の側溝整備に努めてまいります。

令和7年度　　目　標　設　定　書　（まちづくり整備課）

まちづくり整備課長　　大 畑 俊 文

1　当課の主な業務は次のように定義されます。

・良好なまちづくりのための、様々な計画の策定に関すること
・開発許可及び建築関係等の事務に関すること
・都市施設や町道、河川の整備及び維持管理に関すること
・町道等の管理及び占用等に関する事務に関すること

2　当課の業務は次の方々のために行われます。

現在、毛呂山町に住んでいる、或いはこれから毛呂山町に住む皆さんのために。そして、毛呂山町を訪れる全ての皆さんのために。

3　当課の掲げる数値目標と、その根拠は次のとおりです。

目　標　名	ふるさと納税寄附金額の増加	
指　標　名	ふるさと納税寄附金額	
数値目標	初期値（令和５年度）	36,320千円/年
	現状値（令和６年度）	個人版ふるさと納税 35,715,500円 企業版ふるさと納税　3,600,000円
	目標値（令和７年度）	個人版ふるさと納税 38,000,000円 企業版ふるさと納税　4,000,000円
	最終目標値（令和11年度）	50,000千円/年
設定根拠	第六次毛呂山町総合振興計画前期基本計画	
事業概要	個人版及び企業版ふるさと納税寄附を募集し、寄附金額増加による町事業の財源確保及び町の魅力発信に努めます。	

4　目標達成に向けた取り組みにより、次の効果が期待できます。

個人版ふるさと納税寄附金を財源としたビジネスコンテストを開催し､新たなビジネス創出を推進することで､町内活性化を図る効果が期待できます｡また､町内事業者のＰＲの場としての効果も期待できます｡企業版ふるさと納税寄附金を財源として、主として町単独事業を実施することで、安定的な財源確保につなげる効果が期待できます。

5　昨年度の取り組みの反省点は次のとおりでした。

ＧＣＦ（ガバメントクラウドファンディング）を初めて実施しましたが、募集期間が短かったこと等から、目標金額に到達しませんでした。

6　当課は掲げた目標達成のために、次の取り組みを行います。

魅力ある返礼品を開発し、ＳＮＳやイベントを活用した情報発信を行っていきます。また、ＧＣＦ（ガバメントクラウドファンディング）を実施します。